

# 私たちの一票

第5号

みんなの願いきれいな選挙

平成21年4月22日発行  
四日市市明るい選挙推進協議会  
(諏訪町1番5号・市選挙管理委員会事務局内)



成人式での啓発(四日市市文化会館)

## 昭和生まれ最後の成人式

未来をつくる  
あなたの一票大切に

大切な一票に磨きを



昭和生まれ最後の人と平成生まれ最初の人の成人式が、平成21年1月11日、四日市市文化会館で約2,300人が出席して盛大に開かれました。

式では、田中俊行新市長、日置記平市議会議長らが新成人の門出を祝福、前途を激励しました。

この日、恒例となった明るい選挙推進協議会の高橋佳子会長ほか全地区から出席した役員が、真冬の中、来館する一人ひとりにお祝いの言葉にそえて、カイロやあぶらとり紙を手渡して選挙啓発をしました。

一方、館内では、「みんなの願い　きれいな選挙」の布旗を立て、模擬投票所で、一足早く初の清き一票の実感を体験していただきました。

投票の済んだ人には、デジカメで投票箱をバックに記念撮影、その場で美しく仕上げた写真を差し上げて大変喜ばれました。

模擬投票した新成人は、「私たちの大切な一票に磨きをかけ、無駄にせず、しっかりした意志を持って、必ず投票します」とうれしい約束もしてくれました。

## 知恵と独自性で飛躍

## 選挙で意思表示

協議会会長（富田地区） 高橋 佳子

明るい選挙推進協議会の委員の皆様には、積極的にこの会の活動にご参加いただき、ありがとうございます。

私は、皆様のこの活動により、有権者一人ひとりが日常の生活を通して「政治」や「選挙」をより身近な問題として関心を持ち、これが投票率のアップにつながるものと思っています。

さて、昨年には解散が近いと報道された衆議院議員選挙ですが、本年9月に任期満了を迎えることから、今年は必ず選挙が行われます。この「選挙」という二文字にいつになく関心のいく年だと言えるでしょう。

また、昨年来、百年に一度という世界的な経済不況の中で、政治に興味を持ち、投票に参加することで、私たちの意思表示をすることは、極めて重要なことだと考えます。このような時だからこそ、委員の皆様には、常時啓発、臨時啓発により一層の知恵と独自性を持って、活動に参加していただきたいと思います。

今後は、若年層への投票参加の活動にも力を入れ、これまで私たちが培った明推協の活動も大切にしながら、より飛躍をする年にしたいと心から願っています。

### 三泗地区指導者研修会に参加して

富洲原地区 鈴木 稔

平成21年2月6日、四日市港ポートビルにおいて、三重県明るい選挙推進連合会三泗地区指導者研修会が行なわれました。研修の内容は、「明るい選挙の推進・啓発について」

～明るい選挙の推進活動の事例紹介～と題し、

1、参議院選挙（三重県選挙区）における投票率の推移から

2、平成19年度明るい選挙推進優良活動の紹介

3、三重県明るい選挙推進連合会の取組

・未来の有権者啓発事業 ・いっぴょん塾

・大学とのネットワーク事業（三重大学 大学祭啓発事業）

・青年選挙講座（グリーンエイジミーティング）

・明るい選挙推進強調月間

の各項目について説明を受けました。

全国各地において、主権者の選挙意識の向上、投票率の向上について、それぞれに努力されていることを知りました。

われわれの活動は、直ちに結果が表われない一面もありますが、気長に根気よく活動を続けていれば、いつかは成果が上がるもの信じています。

今回の研修で得た知識をもって、「明るい選挙を推進する」という、われわれの会の目的に向って、今後の地区での活動に努めたい。

### 明推協地区活動について

桜地区 真川 勇

桜地区は、人口16,301人、有権者数13,076人で、四日市市の西部に位置し、鈴鹿山麓リサイクルパーク、四日市スポーツランドなどがあり、訪れる人々のやすらぎの場となっています。

明推協は、桜地区市民センターに基点を置き、館長を相談役とし、3連合自治会の推薦を受けた委員7名で、明るく正しい選挙啓発と投票率の向上を目的に、盆踊り、文化祭等の地区行事で啓発活動を行っています。地区講演会は、選挙の関心を高めるため明推協が主催し、平成8年から毎年実施しています。



電子投票啓発（羽津小学校）

参加者は、自治会を始め各種団体に参加を呼びかけています。

講師は、選挙管理委員会市橋委員長にお願いしています。

議題は、「くらしと選挙」です。委員長と選管事務局で、講演、質疑応答を行います。講演会は、1時間30分と決めております。

モデル地区になったときには、自治会役員さんのご協力をいただき、小・中学生選挙啓発ポスターを文化祭3会場に展示させていただき感謝しております。



明るい選挙三泗支会研修会(四日市港ポートビル)



明るい選挙推進強調月間での啓発活動(ふれあいモール)



電子投票啓発(羽津小学校)

### 電子投票の啓発活動を通じて

中部地区 須賀 亮一

平成20年11月30日、四日市市では2回目の電子投票機による市長選挙が実施されました。選挙本番に先立ち選管事務局から、各地区に電子投票機が貸し出され、少しでも多くの市民に電子投票を体験してもらうことで投票率の向上を目指す活動を開始しました。

わが中部地区でも、3回にわたって電子投票体験コーナーを設け、PRをしてきました。

1回目は高齢者を対象に、敬老会会場で、約100人のお年寄りに体験をしていただきました。

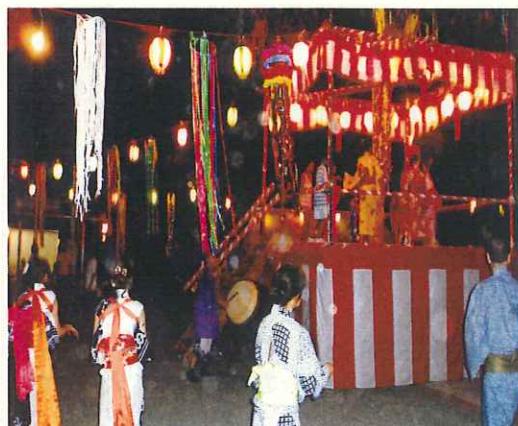
2回目は地域の代表である自治会会合の席で、各会長に体験をしていただきました。

3回目は11月1日に、JR四日市駅付近で行われた四日市市制111周年記念事業の一端として、約3時間にわたって一般の人を対象に実施しました。

この啓発活動において、体験者の感想・意見をまとめて見ますと、

「思ったより簡単・文字が大きく見やすい」など好評であった半面、「簡単過ぎて物足りない・カードの挿入口が判り難い」などの意見がありました。

また、この中で何組かの親子の体験後、子供さんに「成人になつたら必ず選挙に行ってよ」と声をかけたら笑顔で「ウン」と答えてくれたことが印象的で頗もしく感じました。



四郷地区小林町夏祭り

### モデル地区の啓発に感じて

塩浜地区 小宮 計祐

平成20年度塩浜地区は、モデル地区に指定されました。選管の方と小学校、中学校の訪問から始まり、平成21年2月20日までの啓発活動は28回、電子投票の啓発は5回で、合計33回行い、それなりの啓発活動は、出来たのではないかと思います。

ただ、先日のある新聞の投稿欄に、20代、30代の若年層の投票率が低いとあり、どうして若年層は、投票に行かないのか指摘をされていました。

これをいくらかでも投票率のアップに繋げるには、アンケートを取り、その原因（要因）を把握し、対策を取らない限り今の世の中の情勢を見ると、投票率のアップは難しいと思います。明推協、選管も街頭での啓発品の配布を含め、啓発のあり方を見直しをして、成人式の舞台上にて、投票の必要性、実情を訴えて行かなければ、投票率のアップは難しいのではないかでしょうか。



電子投票啓発活動(本町 プラザ)

### 地区の啓発活動に思う事

四郷地区 坂下 悅子

四郷地区は、高花平、笛川、旧四郷と3地区あり、毎年夏まつり、春と秋の文化祭と多彩な行事が各地区毎に、行われています。その行事のうち、5か所ほどを選び啓発活動をしました。

私は今まで、参加したことのなかった、高花平地区の小林町の夏まつりの啓発活動に参加しました。

まず、行って見て感じたことは、若い人達が大勢運営に携わっていることです。だから夏まつりが、ほかの町にはない、勢いがあると感じました。そこで私達委員が、この雰囲気に盛り上がり啓発物品の「うちわ」を参加する人達に配布することが出来ました。

若い人達が喜んで啓発物品の「うちわ」を浴衣に差しこみ、なんだか御年配の方達も活発に見え元気でした。

この様な活発な地区で、若い人達に毎年、明るい選挙推進委員が啓発活動を展開したならば、必ず投票率の向上になると感じ、地域に根付いた啓発活動を委員全員で進めて行こうと思いました。

平成21年度四日市市明るい選挙推進協議会委員

平成21年4月1日現在

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
富洲原	鈴木 稔	常磐	谷崎 滋夫	内部	土井 靖子	桜	芳山 昇	下野	須原 皓	中部	須賀 亮一
	生川 玉雄	磐	初田 友子		新開 昇		服部幸一郎		野原 幸二		水谷 謙之
	名倉 忠昭		久保田 怡		堀 よしみ		川北 真輔		筒井美知子		豊田百合子
	藤井 勇		田中 資郎		水谷 隆						刑部 清子
	高橋 治		小林 幸子				野田 雅春		伊藤 清隆		飯田 剛生
	伊藤 盛恵		寺本都美子				加藤 裕久		三宅 恵子		三日市 存
富田	高橋 佳子		鏡 澄子	永		小山田	須藤 愛子	大矢知	林 純子	海藏	笛原 久子
	早川多津子		田中喜代子				中村 實		中村須美子		森 繁春
	林 玄雄		坂下 悅子				北尾 喜子		渡邊 治		渡邊柳一
	渡邊 勇子		井上 敏夫				伊藤 久子				福田 知子
	林 正雄		古川とし子				宮城 啓子				森下 尚子
	荒木 晓美		加藤喜代子				小林 三弘				山本江里子
羽津	渡邊佳代子		後藤 良子	四郷		川島	中村久美子	河原田	高橋 艶子	橋北	諸岡 彌彌
	山下 英		広森 義昭				青木 八重		田中 啓之		塚脇 大仁
	尾崎久美子		館 法夫				奥田かなえ				服部 富子
	山田 明美		小宮 計祐				鈴木 敏夫		田川 壽一		新屋 正紀
	寺村喜久男		山村 好美				川村きさ代		上村れい子		矢田 實
	森 香英子		村木 岩和				山口 敏樹				家城 進
常磐	久志本正彦		柏谷 恵子	内		神前	中野 町子	水沢	廣田 俊隆	楠	加田 洋志
	川村 憲一		伊藤 恵子				堤 初子		齊藤さち子		川合 弘吉
	堀 桂子		富島 正昭				眞川 勇		堀 春代		
	別所 春代		田中 鈴子				渡邊 敏弘		山川 憲夫		
	後藤 俊子		清水 芳則				渡邊佳世子		相馬 みね		
							坂井 正紀				
						桜		下野	豊田 隆		

【豆知識】

《投票所入場券はチケット？》

投票日が近づくと通常、投票所入場券が送られてきますが、これは映画の入場券などとは異なり、これがないと投票所に入れないとか、また、これさえ持つていけば無条件に投票できるとか言うものではありません。

投票所では、投票しようとする人が選挙人名簿に登録されている人であるかどうか、また選挙人名簿に登録されている選挙人本人であるかどうかを確認するため、選挙人名簿との対照が行われますが、この対照を的確かつ円滑にするために交付されるのが投票所入場券なのです。

したがって、仮に入場券を持っていかなくても、選挙人名簿との対照の結果、本人と確認されれば投票できるのはもちろんです。また、逆にいくら入場券を持っていても、本人かどうかの確認の手続が必要なことはいうまでもありません。

委員長 萩 伸元（小山田）

委員 須賀 亮一（中部） 鈴木 稔（富洲原） 川村 憲一（常磐） 小宮 計祐（塩浜） 坂下 悅子（四郷）



あとがき

- 電子投票による体験啓発は、昨年末の市長選挙でその成果が十分表されたものと自負し、改めてご苦労にお礼申し上げます。また、期日前投票や当日の立会にご協力いただき、ありがとうございました。
- 成人式の啓発会場では、日置市議会議長、田中副議長から激励と、温かいねぎらいの言葉をいただき、新成人と共に記念撮影に納まる、なごやかなひとこまもありました。
- 本年の啓発モデルは、内部地区と水沢地区です。奇抜なアイデアを出し合って、活発な活動を期待します。
- 今後は、企画、広報両委員会が自立し進む道を切り拓き、高橋会長を先頭に明推協委員が一丸となって、名実共に、県下のリーダーであり続けるため、ご支援と心強いご協力をお願いします。